

瓜連支所の組織配置再編に関する基本方針
(案)

令和5年12月

茨城県那珂市

目次

1 基本方針の趣旨	1
2 瓜連支所庁舎の現状	1
3 検討の経緯	1
4 ふれあいセンターすがやの整備	2
5 中央公民館建屋を活用した瓜連支所庁舎の組織配置再編	2
6 対象施設の概要	2
7 施設間の類似用途の整理及び行政事務室の集約によるメリット	3
(1) 市民の利便性向上	3
(2) 経費削減	4
ア 施設維持経費の削減	4
イ 効率的な施設の改修工事による経費の削減	4
ウ 人件費の削減	4
エ 集約化による移動経費の削減	4
(3) 業務の効率化と連携強化	4
(4) その他のメリット	4
ア 環境負荷の軽減	4
8 瓜連支所庁舎及び分庁舎の今後の在り方検討	4
9 瓜連支所の組織配置再編に関する基本的な考え方	5
10 想定スケジュール	6

1 基本方針の趣旨

本市の公共施設については、人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、施設の老朽化や利用状況、維持管理コスト等を考慮しながら、長期的な視点に立ち、施設の更新、統廃合及び有効活用等を計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、適正な配置が求められています。

その実現のため、施設間の類似用途の整理や行政事務室の集約等を進めることで、市民の利便性向上、経費削減及び業務の効率化を図るものです。

2 瓜連支所庁舎の現状

那珂市は、平成 17 年 1 月 21 日に旧那珂町と旧瓜連町が合併して誕生しました。

合併当初は、瓜連支所庁舎に庶務課・市民窓口課・環境福祉課を配置し、旧瓜連町の住民サービスを維持するとともに、分庁舎の 1 階に上下水道部、2 階に教育委員会、図書館建設準備室を配置していましたが、その後組織の再編を重ね、現在は瓜連支所庁舎 1 階に簡易行政窓口業務を行う瓜連支所のほか上下水道部、2 階に教育委員会を配置しています。

空きスペースについては、瓜連支所庁舎の瓜連郵便局及び那珂地区保護司会並びに分庁舎の那珂市社会福祉協議会及び那珂医師会が使用しています。

3 検討の経緯

瓜連支所庁舎内の組織の在り方については、行政組織機構検討委員会をはじめ、庁内において行政組織機構の見直しを検討する際の議題とされてきました。

平成 26 年 11 月の庁議では、瓜連支所庁舎に配置している組織のうち教育委員会は中央公民館への移設を検討し、上下水道部は引き続き瓜連支所庁舎への配置を前提に組織配置の再編を検討することとなりました。

しかし、平成 28 年 11 月の庁議では、中央公民館の利用状況や菅谷地区にコミュニティセンターがないことを考慮すると、中央公民館の会議室を廃止することは難しく、教育委員会の移転は困難との判断となりました。

さらに、効率的な行政運営のためには、上下水道部及び教育委員会の本庁舎への集約の実現性についてもあわせて検討してきましたが、本庁舎へ集約を行うには施設が手狭である等の課題もあり、具体的な検討ができずに現在に至っています。

4 ふれあいセンターすがやの整備

コミュニティセンターについては、地域住民や市民組織、市民活動団体等の新たな活動拠点として、平成8年から計画的に整備を進めており、市内5つの中学校区のうち、ふれあいセンターごだい（第一中学校区）、ふれあいセンターよこぼり（第二中学校区）、ふれあいセンターよしの（第三中学校区）及び総合センターらぼーる（瓜連中学校区）の4つの中学校区で既に整備がされています。

現在は、菅谷地区の第四中学校区にふれあいセンターすがやの整備を進めており、令和6年6月に供用を開始する予定です。

5 中央公民館建屋を活用した瓜連支所庁舎の組織配置再編

現状、中央公民館の主要な貸室の平均稼働率は25%程度となっており、貸室の利用に余裕があります。そのため、ふれあいセンターすがやが整備されれば、これまで中央公民館を中心に行われてきた社会教育・生涯学習活動は、ふれあいセンターすがやを中心とした各コミュニティセンターも使いながら、分散して行うことが可能です。

人口減少や少子高齢化がより一層進む中、公共サービスを持続的に提供するには、利用需要に合わせた施設間の類似用途の整理や統合等を行う必要があります。

今回、ふれあいセンターすがやの整備に併せて、公民館とコミュニティセンターとの類似用途を整理するとともに、上下水道部及び教育委員会¹を中央公民館建屋の空いたスペースに移設し、行政事務室を集約することで、市民の利便性向上及び業務の効率化を図ります。

6 対象施設の概要

施設名称	機能	建築年 (築年数)	延床面積 (㎡)	構造
瓜連支所	・瓜連支所、上下水道部、教育委員会 ※貸付：瓜連郵便局、那珂地区保護司会	1986 (築37年)	2,121.0	RC造
瓜連分庁舎	※貸付：那珂市社会福祉協議会、那珂医師会	1995 (築28年)	687.7	RC造

¹ 中央公民館に配置する組織については、まずは上下水道部と教育委員会を基本としますが、その時の状況にあわせて再検討します。

中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：集会ホール、会議室 3 室、和室 2 室、学習室、講座室、視聴覚室、調理室、美術室) ・幼児室 ・図書閲覧室 	1984 (築 39 年)	3,872.9	RC 造 一部 S 造
ふれあいセンター ごだい	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：多目的室、会議室 2 室、和室 2 室、調理室) ・児童室 ・図書コーナー 	2009 (築 14 年)	1,117.8	RC 造
ふれあいセンター よこぼり	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：多目的室、会議室 2 室、和室 2 室、調理室) ・児童室 ・図書コーナー 	2005 (築 18 年)	1,044.0	RC 造
ふれあいセンター よしの	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：集会ホール、会議室、和室 2 室、研修室、実習室) ・児童室 ・図書コーナー 	1996 (築 27 年)	939.0	RC 造
総合センターら ぼーる	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：多目的ホール、研修室 5 室、教養娯楽室 2 室、視聴覚室 2 室、栄養指導実習室、創作活動室) ・図書室 	1998 (築 25 年)	4,220.0	RC 造 一部 S 造
ふれあいセンター すがや	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・集会・学習スペース (貸出施設：多目的室、会議室 5 室、和室 2 室、調理室) ・児童室 	2024 予定	1,701.9	RC 造

RC 造…鉄筋コンクリート造

S 造…鉄骨造

7 施設間の類似用途の整理及び行政事務室の集約によるメリット

施設間の類似用途の整理及び行政事務室の集約にあたっては、新たに中央公民館で一部間仕切り・床・外壁等の改修による経費は発生しますが、以下のようなメリットがあります。

(1) 市民の利便性向上

上下水道部と教育委員会を市役所周辺へ移設することで、より市民が利用しやすく、わかりやすい、可能な限り集約化された窓口サービスが提供できます。

(2) 経費削減

ア 施設維持経費の削減

施設間の類似用途を整理するとともに、上下水道部と教育委員会を中央公民館建屋に移設することで、施設管理や運営にかかる維持管理費が削減できます。

イ 効率的な施設の改修工事による経費の削減

中央公民館建屋の長寿命化大規模改修の際に、新たな行政事務室の改修工事を並行して行うことで、施設の維持改修の効率化が図れ、長期的な維持管理費やエネルギー消費量が削減できます。

ウ 人件費の削減

施設間の類似用途を整理することで、効率的な行政運営による人員の最適化が図れ、人件費が削減できます。

エ 集約化による移動経費の削減

上下水道部と教育委員会を中央公民館建屋に移設することで、職員間の移動に伴う時間や燃料費が削減できます。

(3) 業務の効率化と連携強化

職員による本庁と支所の行き来の必要がなくなることから、部署間の連携がしやすくなり、業務の効率化と連携強化が図られます。

(4) その他のメリット

ア 環境負荷の軽減

行政事務室の集約により、職員の移動に伴うCO2排出量が削減され、環境負荷の軽減につながります。

8 瓜連支所庁舎及び分庁舎の今後の在り方検討

上下水道部と教育委員会を移設した場合、瓜連支所庁舎に残る行政機能は簡易行政窓口業務を行う瓜連支所のみとなり、新たに多くの空きスペースができます。そのため、瓜連支所庁舎及び付随する分庁舎の今後の在り方を検討する必要があります。

瓜連支所庁舎及び分庁舎については、瓜連支所庁舎が築37年、分庁舎が築28年を経過しており、施設の老朽化や劣化による修繕等の発生で多額の維持管理の費用がかかっています。

このような状況を踏まえ、瓜連支所庁舎及び分庁舎の今後の在り方については、施設の耐久性や維持管理費等を勘案してもこれらの施設を更新し、維持管理していくことは困難なことから、既存建物の取り壊しも視野に入れて検討します。また、行政窓口（支所窓口）については、周辺住民の利便性を考慮し、現支所庁舎に近い地域活動拠点である総合センターらぼーるへ移設します。

9 瓜連支所の組織配置再編に関する基本的な考え方

方針 1

公民館とコミュニティセンターとの類似用途を整理し、中央公民館の改修にあわせて市役所分庁舎としての用途を追加する。

- ・ 令和 7 年度末までを移行期間とし、中央公民館の利用団体（者）の現在行っている活動がコミュニティセンターにおいても同じように継続できることを確認します。
- ・ 公民館とコミュニティセンターの位置づけは変更しません。
- ・ 公共施設等マネジメント計画の推進方針に基づき、両施設で重複している講座室、和室等の類似する機能を整理し、施設総量の抑制を図ります。
- ・ 市役所分庁舎の会議室は、互いに支障を及ぼさないよう運用を明確にして共用化を図ります。

方針 2

中央公民館建屋を改修し、瓜連支所庁舎に配置している上下水道部と教育委員会の行政事務室を移設する。

- ・ 令和 11 年 4 月に上下水道部と教育委員会の行政事務室を移設します。
- ・ 令和 8 年度から 10 年度に行う施設の長寿命化大規模改修と並行して、行政事務室への改修を行います。

方針 3

支所窓口を総合センターらぼーるへ移設する。

- ・ 令和 11 年 4 月に支所窓口を移設します。
- ・ 移設するにあたっては、併せて市民の利便性向上や業務の効率化につながるよう、窓口の D X 推進を図ることを検討します。

方針 4

瓜連支所庁舎（分庁舎含む）の在り方を検討する。

- ・ 老朽化している瓜連支所庁舎及び分庁舎の取り壊しも視野に入れて検討します。
- ・ 瓜連支所庁舎及び分庁舎に入っている瓜連郵便局、那珂地区保護司会、那珂市社会福祉協議会及び那珂医師会と移転等の協議を進めます。
- ・ その後の活用の方向性についても地域の特性や住民のニーズを踏まえて、地域の活性化につながる最適な活用方法を検討します。

10 想定スケジュール

瓜連支所の組織配置再編については、概ね以下のスケジュールを想定しています。なお、市民の利便性向上の観点から、可能な限り早期の供用開始を目指します。

令和6年度中	市民への周知
令和6年度～令和7年度	基本設計、実施設計（長寿命化＋事務室集約） ＜中央公民館建屋＞
令和8年度～令和10年度	改修工事（長寿命化＋事務室集約）＜中央公民館建屋＞
令和11年4月	供用開始＜上下水道部と教育委員会の移設＞